

いただいた御意見（～6月分）
コンベンションは、駅に近い点で有利。
コンベンション施設があるということは極めて大切。
コンベンション施設があれば使われる。城をはじめ、施設を使った人が行くところがある。西尾、豊田、安城より魅力がある。
竜美丘会館は、狭くて、使いにくくて、時代に合った使い方ができない。駅からも遠く、機能として弱い。
竜美丘会館の機能を太陽の城跡地に移せば、ある程度の規模のホールができる。
中央総合公園は、ビニールを引いてやるのは良くないし、使いにくい。
他市では、部屋の大きさが調整できることが多い。通路にじゅうたんをひけるなどカスタマイズもしやすい。
海外では、間仕切りをして大きさを改変ができる大空間がある。
規模は小さくても集まれるキレイな建物が欲しい。
大きくはないが、業界の展示会やイベントもある。
コンベンション整備は賛成。やったほうがいい。都市、まちは変化していけないといけない。整備をしないと市として進歩が少なくなる。
建物自体が絵になって、岡崎らしい名所になるといい。
城、川、桜、川面の曲線の景観の中になじんで立つ建物がいい。
城、川と一緒に望むことができる点は価値。
お母さん、子連れは行くところがなく、断られることも。駐車場の広さが必要。子どもたちが遊ぶ風景は微笑ましい。機能を付加できるといい。
ホテルニューオータニのようなガーデンがあれば、こどもも行ける場所になる。
川は車が通らないので遊べるといい。河川敷は市外からも評価されている。
ゆったりと滞在してもらえる客がステイしやすい間取り、部屋の広さがいい。
最大700名が参加する会議を、幸田のさくらホールか中総で実施している。車で来ることができ、駐車場がある場所。
コンベンション施設は、岡崎にひとつくらいあってもいいと思う。施設があることで市の発展につながる可能性は高い。
新しい施設ができれば、使いたいと思うはず。
宿泊してもらい、夜を楽しんでもらえるようになれば、経済波及効果は高い。
市内の各企業で大きなホールをもっているが利用頻度は低い。コンベンション施設ができれば、各企業でホールを持たなくてもよくなる。
前市長は、経済界から「40万都市にコンベンションホールがないのは恥ずかしい」「名古屋や豊橋に流れてしまっている」などの声を受け、コンベンション整備はいい政策だと思い、公約の一つにしていた。
この事業は、もとは経済界から出た話であることを理解しているか。
東岡崎駅から歩ける距離にあることは願ってもない利点。
市長との信頼関係はない。市長が腹を割って本音を言わないと、こちらとしても腹を割れない。まずは、市長からしかるべき意思表示が必要。
乙川、アクセス、城や花火など、立地が良く利便性の高い場所で整備すべき。
立地条件を見極めて内容を決めてほしい。この立地は観光にもってこい。福祉ではもったいない。
福祉なら、病院の近くや、たくさんの緑地がある山間部がいい。
東南海地震などの緊急時に、太陽光発電による電力供給、断水時の水提供、医療対応などの対応が期待できる。
災害に強く、観光にも強いものを作ってほしい。
駅前には40万都市の顔としてはみずばらしい。駅前とあわせて、面的に整備を進めるべきだ。
市民、こどもが自慢できるようなものを作ってほしい。
80億については、国の補助金の活用など、すべてを市税で賄うわけではないことを市民に対し伝えたほうがいい。
コロナがなければ、桜城橋など整備した場所に多くの市民が訪れ、継続的に利用される姿を見て、見方も変わったはず。タイミングが悪かった。
団体で1,000人規模の事業をするときは、名古屋で実施している。対応できるホールがないから。
西三河、東三河の財界へのアピールも可能。利用価値はある。
コンベンションを黒字で回すのは難しいから、市でやるしかない。団体、企業が実際に利用すれば波及効果は高いが、数字には表れてこない。
豊田スタジアムも、事業費をペイできていないと思うが、利用時の周辺への経済効果は大きいはず。
施設に来た人に遊んで帰ってもらえるようにできるといい。コンベンション利用にあわせて桜城橋で出店企画を打つとか。
各種団体に例会をやってもらうとか、各企業の会議使用を呼び掛けるとか、赤字縮減策を考えていくべき。
料金が高くても、企業は使う。コンベンションは、そもそも一般人が日々利用するものではない。
1階に喫茶や飲食があれば、市民の利用も考えらえる。
ガラスの使用はデメリットがある。日光が入らないよう閉めっぱなしで使うことになる。外側の汚れ対応など維持コストもかかるので、長期視点で考えることも無駄と思える部分だとしても、歩いてきた時に魅力になることもある。
メインとなるホールの規模は守るべき。縮小するくらいなら、やらないほうがいい。
QURUWAは悪くないが、各拠点で目玉になるものを増やしていけるといい。
首長は、自分の考えがあるなら、説き伏せてでも引く張っていきべき。必要なら多数派意見を切り捨てて、少数派意見を拾い上げてもいい。
市のシンボルとなるような、子供も大人も年配も自慢ができるようなものを。岡崎市から発信できるようなものを。
乙川の遊べる環境があり、花火が見られ、岡崎城、六所神社もある。イベント、観光につながる立地を兼ねているので、基本は人が集まるコンベンションが必要。
世界的な知名度のある人が作ることで、観光で見に行きたい場になる。地元の設計事務所も刺激を受け勉強することになる。建設業者も技術的に業界のレベルアップが図れる。グローバルな建物ができるといい。
東南海地震が予想されるため、災害時の防災機能を持たせ、停電対応、食料等の備蓄ができる場所にできるといい。
経済の起爆剤となるような施設。完成後は、観光客の誘致ができたらと思う。
「何もしない」という選択肢はない。残りの二つの中で市民の意見を十分反映できるようなものを。
各企業で数100名が集まる施設を持つと維持費もかかり負担が大きい。行政が市内に整備してくれば企業も経営的に楽になる。
中核都市として恥じないような立派な活用できるコンベンションホールを作ってほしい。その必要性はあると思う。
中心市街地の元気がなくなり久しい。活性化のために施設は必要。
乙川の北側に文化施設のりぐら、伊賀川と乙川の合流点に城、川の南に商業の中心となるコンベンション施設ができると、バランスよく地域活性化が企業や各団体が施設を利用すれば、波及効果はとても大きいものがある。
企業の使い勝手がよく集客効果が発揮されるような、適正規模でぜひ実行してほしい。
市民が日常的に使えることも考えないといけない。ハードを活用するソフト事業も大事。
日常的な農産物の販売や、市民が集える施設を検討してほしい。
コンベンションを含めた施設があるのはいい。あってしかるべき。
コンベンションやホテルからは城を含めたすごい景色が見られる。あの場所で達成できるなら非常に良い。
都市の成長には変化が必要。38万の中核都市にコンベンションがあることは、岡崎にとっては前向きなこと。
事業主だけでなくこどもの利用も付加するといいい。

いただいた御意見（～6月分）
コンベンションとして竜美丘会館を時々使うが、機能が薄れてきた。東岡崎駅から距離があり、バスのピストン輸送も手間がかかる。
太陽の城なら徒歩で行ける。竜美丘の機能を太陽の城跡地で発揮できるといい。
既存のホテルの機能がこの土地に来て、部屋の充実など機能が備わるといい。
食事を、60人や70人でできるところがない。観光バスが入れて、使えるところがあれば、岡崎にとどまってもらえる。
コンベンションホールは、数年前に「大きな大会をするときのホールがない」という話から始まった。
ホールは、早急に作る必要はないのではないか。東岡崎駅前の再開発に重点を置いてやっていただきたい。
東岡崎駅前の開発も大事だと思うが、太陽の城跡地では、何かをして、人の集まる施設を作ってもらいたい。
名古屋、近隣県などから人が市に来れば、市で消費をし、市内の飲食店など商売が潤い、地域活性化につながる。
せっかくやるなら新しい視点で。ホールは必要だが、限られた財源の中で大局的に見て進めること。
作ることによる波及効果を見ていく必要がある。
ICTなど今後の世の中の流れを意識した岡崎らしい取り組みになれば。
コンベンション施設の整備は、需要を確認しながら、無駄遣いしないように実現してもらいたい。
何もしないというのはない。
計画変更をするとしても、まずは産業用ということを考えたらうで、複合的な利用方法への対応を。
太陽の城跡地への誘客として、親子連れを想定するのはありだが、事業者の提案にゆだねてもよいのではないか。
建物自体が岡崎の新しい名所となって、誘客を図れるような建築的な魅力を持った施設であってほしい。
駅周辺からここに至るまでの、面的な進捗も考えてほしい。
竜美丘会館は開館して40年で老朽化。今の機能を無くし、あの場所にふさわしい用途を考えて活用してはどうか。
研修会を多く開催するが、研修会場をとるのが至難の業。
県、全国の研修会も、会場がないから岡崎でやったことがない。
会場となる施設を持つ必要性は十分ある。
外の人が集まれる大きな会場が必要。
こども関係、小中学校関係でも大きな会場がなくして市内で会合をやれていない。
岡崎には会場と宿泊施設が少なく、200～300人規模の研修がさばけないと考えられている。
研修会ができれば、地元の特産品やお酒等を発信できるチャンス。市の魅力を発信していける。
1000人規模だと分割して利用できれば300人規模でもやりやすい。定期的に使用していける見通しはある。
市内には世界有数の研究機構やドクターもいる。学会や研究成果の公開をもっと地元の人に見せる場は必要。
岡崎に来てくれないことにはじまらない。
現行計画は、いろんな立場で考えられ、議会で承認されたもの。もう一度周知したほうがいい。
80億円があるから、中止して5万円の財源にするとしか聞いている。
職員が500人いるので、これだけの数が入る施設がほしい。
人の集まる場所が必要。確保できない。
人が集まることを大切にしたい。集まれば、岡崎の魅力を発信でき、お金を落としてもらえるなど経済効果を模索することもできる。
みんなが集まることで経済的な循環をつくり、子どもたちの生活の基盤を安定させ、市の成り立ちを支える場所。
コンベンションを、ホテルや商業施設と一体型と考えるなら、この場所。多くの人を呼べる可能性があり、今後の市にプラス。
研修で来た人が観光して帰宅し、家族に話して家族が行きたくなれば、子どもたちの関心も満たせるようになる。
岡崎で生活し困ったことはない。この土地では、市民生活よりも観光などの観点で税金を使い、収入確保も重視していくべき。
各スポットで役割分担。籠田公園など子供が遊べるところはほかにあるので、この土地は違う機能で特化。競合しないほうがいい。
四角い箱のような施設でなくてもコンベンション機能は持てる。外から見て、あそこで一度やってみたいと思うような施設。